

一般社団法人北海道環境保全技術協会 主催
平成 22 年度第 1 回環境保全技術セミナー

日時：平成 22 年 7 月 2 日（金）、午後 2 時 30 分～5 時 00 分
場所：かでの 2 7 710 研修室（96 名）（札幌市中央区北 2 条西 7 丁目）
参加費：無料

<セミナーの内容>

1. 「オンサイト分析による土木工事現場の重金属管理」

〔概要〕 土木工事における重金属オンサイト分析の背景と現状。重金属オンサイト分析装置（Geo-REX）の開発経緯と分析原理。前処理技術と実施プロセス。導入事例紹介。

〔発表者〕 積水化学工業株式会社 玉木 聡史（マイクロチップグループリーダー）

2. 「土壌汚染対策法改正に対応する原位置浄化および調査の手法について」

〔概要〕 2010年4月に土壌汚染対策法が改正され、オンサイトでの汚染土壌浄化が求められるようになり、その浄化を成功させるためには、サイトにおける汚染の状態を正確に把握する必要がある。

土壌汚染対策法改正に対応した技術として、『原位置浄化の概要』・『ダイレクトセンシング技術①』・『ダイレクトセンシング技術②』の3部に分けて説明。

〔発表者〕 株式会社アイエス・ソリューション 西村 実（代表取締役）

株式会社地盤試験所 西村 真二（技術部長）

株式会社ランドコンシェルジュ 佐藤 秀之（課長）

3. 「地下水シミュレーションの概要と解析事例」

〔概要〕 建設工事等による地下水への影響評価を行うためのツールとしての地下水モデリングの考え方や手順、その適用事例について紹介。

〔発表者〕 株式会社レアックス 石井 啓滋（環境・計測部上席主任）

参加者総数104名（会員：31名、会員外：17名、官庁関係：43名、発表者ほか：13名）

<セミナーの風景>



平成 22 年度最初のセミナー会場は超満員。

同日、午前中には札幌市内でデモンストレーションが行われ、各社の環境保全技術について理解を深めました。

<開会挨拶>



開会挨拶は道環協 重松 渉 事務局長



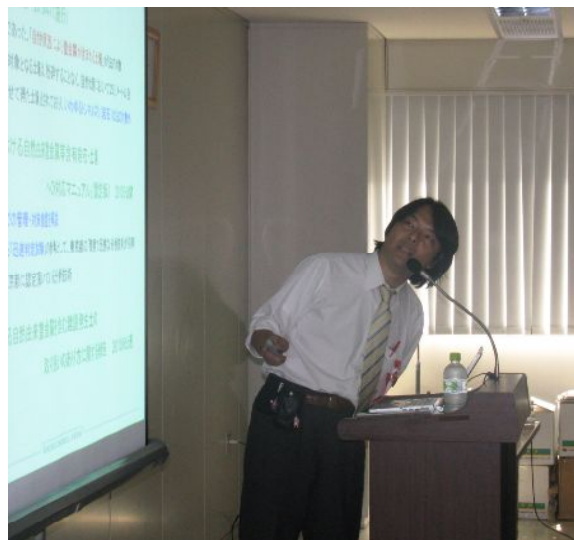
司会の道環協 鐵川理事からは、道環協の技術委員会の活動報告も。

<発表風景 1>

「オンサイト分析による土木工事現場の重金属管理」



積水化学工業株式会社 玉木 聡史 氏



<発表風景 2>

「土壌汚染対策法改正に対応する原位置浄化および調査の手法について」



株式会社アイエス・ソリューション 西村 実 氏



株式会社ランドコンシェルジュ 佐藤 秀之 氏



株式会社地盤試験所 西村 真二 氏

「地下水シミュレーションの概要と解析事例」



株式会社リアックス 石井 啓滋 氏



一般社団法人北海道環境保全技術協会 主催
平成 22 年度第 1 回環境保全技術セミナー・屋外デモンストレーション

日時：平成 22 年 7 月 2 日（金）、午前 10 時 00 分～12 時 00 分

場所：株式会社レアックス 駐車場および玄関ホール（札幌市東区北 24 条東 17 丁目 1 番 12 号）

場所のご案内 <http://raax.co.jp/company/access.html>

参加費：無料

<デモンストレーションの内容>

1. ジオプローブによる土壌採取（株式会社ランドコンシェルジュ）

環境調査専用機械のジオプローブによる土壌採取を駐車場で実演する。

2. ボルタンメトリー法による現場分析（積水化学工業株式会社）

重金属オンサイト分析装置（Geo-REX）による現場分析を採取した土壌試料を用いて実演する。

3. 土壌ガス分析等（株式会社レアックス）

土壌ガス採取からオンサイト分析まで土壌ガス調査の一連の作業を実演する。

参加者総数 54 名（会員：22 名、会員外：12 名、官庁関係：8 名、発表者ほか：12 名）

◆平成 22 年度第 1 回環境保全技術セミナー開催日の午前中に、札幌市内の株式会社レアックス敷地内にて、3 企業によるデモンストレーションが行われました。

◆会場では装置の実演が行われ、各種の分析や土壌採取の様子なども再現されました。

◆デモンストレーションの開催により、参加者は各社の技術について質問や意見交換を活発に行い、午後のセミナーでの講義内容への理解を更に深める機会となりました。